

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)															
ET45H010		障害児心理学演習(Seminar in Psychology for the Children with Special Needs)					特別支援教育															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員																
選択	2	1	大学院教育学研究科	前期		氏名 衛藤 裕司 E-mail eto@oita-u.ac.jp 内線 7537																
授業の概要	特別なニーズのある子ども達の中でも発達障害を中心に、心理学的観点から彼らの支援の実際を学ぶ。最終的に、「アセスメントの技術」と「プログラム作成の技術」を学び、実際に使用できる「支援プラン」を作成することがこの授業のゴールである。																					
具体的な到達目標											DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1 支援のために必要なデータを収集することができる。																						
目標2 得られたデータからアセスメントを行い、所見を書くことができる。																						
目標3 例を参照にしながら、短期目標の支援プランを作成することができる。																						
目標4																						
目標5																						
目標6																						
目標7																						
目標8																						
目標9																						
目標10																						
授業の内容																						
1 発達障害の心理学的支援の理論と概念																						
2 発達障害の心理学的支援のデータ収集法 1																						
3 発達障害の心理学的支援のデータ収集法 2																						
4 発達障害の心理学的支援のデータの事例 1																						
5 発達障害の専門家としての連携の持ち方 1																						
6 発達障害の専門家としての連携の持ち方 2																						
7 発達障害の心理学的支援の長期目標の設定法																						
8 発達障害の心理学的支援の短期目標の設定法																						
9 発達障害の心理学的支援の目標の事例 1, 2																						
10 発達障害の心理学的支援の目標の事例 3																						
11 発達障害の子どもの家族との関係の築き方 1																						
12 発達障害の子どもの家族との関係の築き方 2																						
13 発達障害の教育・心理支援のガイドライン																						
14 発達障害の教育・心理支援のフォーム作成法 1																						
15 発達障害の教育・心理支援のフォーム作成法 2																						
ラーニング	A:知識の定着・確認	ディスカッション(話し合い), 事例研究(ケース・メソッド), 相互教授										工夫	その他の									
	B:意見の表現・交換																					
	C:応用志向																					
	D:知識の活用・創造																					
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	事前配布課題(15時間)																				
	事後学修	配布課題復習(15時間)																				
教科書	プリントを配布する。																					
参考書	その都度, 紹介する。																					
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10										
	課題(データ収集)	30%																				
	課題(所見)	30%																				
	レポート(プラン作成)	40%																				
注意事項	特になし。																					
備考	「障害児心理学特論」を履修しておくことが望ましい。																					
リンク																						
	URL																					